

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
子どもが輝き ともに学び合う 鴨一小	進んで考えを伝え合う力 人と学ぶ・人に学ぶ・自ら学ぶ力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが自己有用感をもち、自分の言葉で表現し進んで行動する子を育てます 人とのかかわりを大切に、まちを愛する心を育てます 「学習が分かる、楽しい」と実感できる授業づくり、考える力・学び合う力を高める授業づくりを推進します

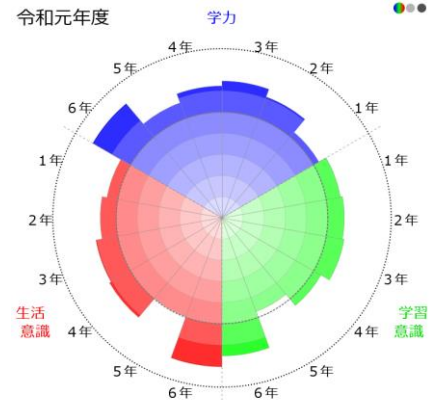
(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	新教育課程導入により、各教科・領域の目標及び内容が、「資質・能力の3つの柱」で整理されたことを受け、算数科を重点研究教科とし、3つの柱の中の一つである「学びに向かう力、人間性等」の涵養について研究していく。自分の思いや考えの根拠をしっかりと伝えて伝える力を伸ばし、自ら学習課題を見つけ問題を解決していく力を身に付けられるようにする。
担当 研究部	

2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

全体的にはどの学年も横浜市の平均を上回る学力である。学習・生活意識については学年によってばらつきがある。高学年では生活意識も学習意識も高いが、学年が下がるにつれ生活も学習も意識が下がる傾向がある。学習したことが生活場面とつながり、それらが生きる経験を重ねることが必要である。児童一人ひとりの学ぶ意欲がより高まる授業づくりを研究し、更に学力につながる指導を実践する必要がある。



(2) 意識の変容と実態の分析

「話したり、聞いたりして人と関わることが好きですか」や、「授業では、自分の考えを発表していますか」などの学校生活意識調査では、全児童の平均が市を上回っている。そのことから、これまでの重点研究の大きなテーマである「進んで考えを伝え合う力」の育成に取り組んできた成果が表れてきているといえる。さらなる取組として、自分の思いや考えの根拠をしっかりと伝えて伝える力を伸ばすことにより、子どもたちに自信をもたせることができれば、「わかった、できた」「自分の考えをもっと伝えたい」という思いが高まると考える。『自ら学習課題を見つけ問題を解決していこう』という、子どもたち自身が主体的に取り組む姿を目指しさらなる授業改善に努めていく。

話したり、聞いたりして人と関わることが好きですか	鴨志田第一小 全児童	64%	27%	6%
	横浜市 全児童	56%	34%	7%
		好き	どちらかといえば好き	どちらかといえばきらい